



賀茂地区 「めぼえ」



下田は温暖で海からの潮が心地よく、異国情緒漂う街です。ゆったりとした空間で、のんびりと時間を過ごしています。



時には居場所周辺を散策したり、利用者が計画したお花見にみんなで出かけたり。歩くのはちょっと疲れますが、素敵な思い出ができますよ。



東部地区 居場所「なごみ」



「自分ち」のような、居心地の良さが自慢です。知らないところだと気後れしてしまう人でも、大きな座卓を囲んでお茶を飲みながら、おしゃべりしたりゲームをしたり、工作したりと、週末のひとときを楽しんで過ごしています。

活動では自信の持てる関わりを大切にしています。スタッフのネットワークとフットワークを生かし、次のステップも積極的に紹介しています。



中部地区 居場所「みなと」



「みなと」は、新しい人や物事と出会い、落ち着いた自由な空間と時間を過ごすことができる自由参加型の居場所です。「部屋や自宅の他にも好きな事をする場所が欲しい」



「やりたい事があるけれど一人では不安」、「自分の趣味を誰かと話したい」等々、皆様がありのままでいられることを大切にしています。



西部地区 居場所「ひとわれ」



デンマーク牧場の山々や放牧されている羊が見える空間の中、のどかな雰囲気の中で活動しています。通常はカードゲームや卓球をメインに活動していますが、月に1度、みなさんの「やってみたい」を実現する日があります。

牧場散策、園芸作業、調理、海や近くのお寺に外出することもありました。それぞれのペースで参加し、のんびり交流を深めています。



おしらせ

平成 29 年度の予定

- ・情報交換会（12月頃）
- ・全県版家族交流会（2月）

9/4・5に、ひきこもり講演会「CRAFTに基づくひきこもりの家族支援」が開催されました。徳島大学の境准教授より、ご本人とご家族のかかわり方についてのお話をいただきました。ご家族、関係機関の方からも大変好評でした。

センセイの コラム



心理学で見つける“人生の意味”
～ ロゴセラピー ～

静岡福祉大学社会福祉学部
准教授 草野智洋

第3回

「人生の意味」とは 「状況の意味」の積み重ね

よく誤解されがちですが、人生の意味とは「私は〇〇のために生まれてきた」と言えるような、一つの大きな何かのことではありません。「今この瞬間、この状況において、私がどうすることに最も意味があるだろうか？」と自分に問いかけてみてください。意味とは常に、ある特定の状況における具体的な何かです。

例えば、子どもがお腹をすかして泣いているという状況で、人生の意味について哲学的な思索にふけることに意味があるとは私には思えません。その状況であれば、何よりも子どもにご飯を食べさせてあげることが最も意味のある行動だと私は考えます。そうして、その都度の「状況の意味」を積み重ねていくことが、結果的にその人の「人生の意味」になっていくのです。

静岡県ひきこもり支援センター

〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2-20 静岡総合庁舎 別館4階
静岡県精神保健福祉センター内

相談専用電話 054-286-9219

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-845/seishin/>

Vol.3
平成29年
10月1日発行

巻頭あいさつ

ひきこもり支援センターだより第3号をお届けします。

今回は、昨年9月に設置した居場所が1周年を迎えましたので、「居場所特集」ということで各居場所の様子をお知らせします。それぞれの居場所で雰囲気も違うため、普段の様子を少しでも知っていただく機会になればと思います。

静岡県精神保健福祉センター所長 内田勝久

居場所について

平成28年9月より、ひきこもりに悩むご本人が家庭以外でも安心して過ごせて、スタッフや同じようにひきこもりに悩む方同士で交流することができる居場所が県内4か所に設置されました。利用は、ひきこもり支援センターの面接後、見学・体験利用となります。詳細はひきこもり支援センター相談専用電話までお問い合わせください。

名称	開設日時	開設場所
めばえ	毎週水曜：13時～17時	下田市中央公民館・賀茂健康福祉センター（下田市）
なごみ	第1～4金曜：10時～15時	盟萌ビル（沼津市）
みなと	毎週火曜：13時～17時	ウェルシップやいづ（焼津市）
ひとむれ	毎週月曜：13時～17時	こひつじ診療所デイケア室（袋井市）